

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公開番号】特開2012-223390(P2012-223390A)

【公開日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2011-93972(P2011-93972)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月29日 (2014.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スピーカと、

演出表示装置と、

該演出表示装置に表示される画像の指示に対して操作することができる演出操作部と、
音量を設定することができるボリュームと、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

該主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段と、
を備える遊技機であって、

前記演出制御手段は、少なくとも、

前記ボリュームで設定される音量で演出に関する演出音の音量を調整する演出音音量調整制御手段と、

所定の条件が成立したときに前記演出表示装置に前記演出操作部を操作するための画像が表示されて該画像の指示に対して前記演出操作部が操作されたことにより該操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を変更する演出音音量変更制御手段と、

前記演出音の音量の大きさを画像として前記演出表示装置に表示するとともに前記演出操作部の操作を画像として当該演出表示装置に表示して当該演出操作部の操作を指示する画像演出音音量表示制御手段と、

前記演出音音量調整制御手段が音量調整した前記演出音又は前記演出音音量変更制御手段が音量調整した前記演出音を前記スピーカから流す制御を実行する音出力実行制御手段と、

を含み、

前記演出音音量変更制御手段は、前記所定の条件が成立して前記画像演出音音量表示制御手段が前記演出音の音量の大きさを画像として前記演出表示装置に表示するとともに前記演出操作部の操作を画像として当該演出表示装置に表示して当該演出操作部の操作を指示するときにおいて、前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を大きくするように当該演出操作部が操作されたときには、該操作に応じて当該演出音の音量を大きく変更する一方、前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を小さくするように当該演出操作部が操作されたときには、該操作に応じて当該演出音の音量を小さく

く変更することを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

（解決手段１）

スピーカと、演出表示装置と、該演出表示装置に表示される画像の指示に対して操作することができる演出操作部と、音量を設定することができるボリュームと、遊技の進行を制御する主制御手段と、該主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段と、を備える遊技機であって、前記演出制御手段は、少なくとも、前記ボリュームで設定される音量で演出に関する演出音の音量を調整する演出音音量調整制御手段と、所定の条件が成立したときに前記演出表示装置に前記演出操作部を操作するための画像が表示されて該画像の指示に対して前記演出操作部が操作されたことにより該操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を変更する演出音音量変更制御手段と、前記演出音の音量の大きさを画像として前記演出表示装置に表示するとともに前記演出操作部の操作を画像として当該演出表示装置に表示して当該演出操作部の操作を指示する画像演出音音量表示制御手段と、前記演出音音量調整制御手段が音量調整した前記演出音又は前記演出音音量変更制御手段が音量調整した前記演出音を前記スピーカから流す制御を実行する音出力実行制御手段と、を含み、前記演出音音量変更制御手段は、前記所定の条件が成立して前記画像演出音音量表示制御手段が前記演出音の音量の大きさを画像として前記演出表示装置に表示するとともに前記演出操作部の操作を画像として当該演出表示装置に表示して当該演出操作部の操作を指示するときにおいて、前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を大きくするように当該演出操作部が操作されたときには、該操作に応じて当該演出音の音量を大きく変更する一方、前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を小さくするように当該演出操作部が操作されたときには、該操作に応じて当該演出音の音量を小さく変更することを特徴とする遊技機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

この遊技機では、スピーカ、演出表示装置、演出操作部、ボリューム、主制御手段、演出制御手段を備えている。スピーカは、各種の音を流すことができ、演出表示部は、さまざまな画像を表示することができ、演出操作部は演出表示装置に表示される画像の指示に対して操作することができ、ボリュームは、音量を設定することができ、主制御手段は、遊技の進行を制御し、演出制御手段は、主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御している。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

演出制御手段は、少なくとも、演出音音量調整制御手段、演出音音量変更制御手段、画

像演出音音量表示制御手段、音出力実行制御手段を含んでいる。演出音音量調整制御手段は、ボリュームで設定される音量で演出に関する演出音の音量を調整することができるものであり、演出音音量変更制御手段は、所定の条件が成立したときに演出表示装置に演出操作部を操作するための画像が表示されてその画像の指示に対して演出操作部が操作されたことによりその操作に応じて演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を変更することができるものであり、画像演出音音量表示制御手段は、演出音の音量の大きさを画像として演出表示装置に表示するとともに演出操作部の操作を画像として演出表示装置に表示して演出操作部の操作を指示することができるものであり、音出力実行制御手段は、演出音音量調整制御手段が音量調整した演出音又は演出音音量変更制御手段が強制的に音量調整した演出音量をスピーカから流す制御を実行することができるものである。ここで、「所定の条件」とは、例えば、客待ち状態となって演出表示装置においてデモンストラーションが行われている期間を挙げることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

演出音音量変更制御手段は、所定の条件が成立して画像演出音音量表示制御手段が演出音の音量の大きさを画像として演出表示装置に表示するとともに演出操作部の操作を画像として演出表示装置に表示して演出操作部の操作を指示するときにおいて、演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を大きくするように演出操作部が操作されたときには、その操作に応じて演出音の音量を大きく変更する一方、演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を小さくするように演出操作部が操作されたときには、その操作に応じて演出音の音量を小さく変更することができるようになっている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

このように、演出に関する演出音の音量はボリュームで設定される音量となるように演出音音量調整制御手段により音量調整されるようになっている。また、所定の条件が成立して画像演出音音量表示制御手段が演出音の音量の大きさを画像として演出表示装置に表示するとともに演出操作部の操作を画像として演出表示装置に表示して演出操作部の操作を指示するときにおいては、演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を大きくするように演出操作部が操作されたときには、その操作に応じて演出音の音量を大きく変更することができるようになっているし、演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を小さくするように演出操作部が操作されたときには、その操作に応じて演出音の音量を小さく変更することができるようになっている。これにより、演出音音量調整制御手段がボリュームで設定される音量に応じて演出音の音量を調整している状態であっても、ボリュームを直接操作することなく、所定の条件が成立して画像演出音音量表示制御手段が演出音の音量の大きさを画像として演出表示装置に表示するとともに演出操作部の操作を画像として演出表示装置に表示して演出操作部の操作を指示するときにおいては、演出操作部を操作することにより、その操作に応じて演出音の音量を変更することができるようになっている。換言すると、ホールの店員は、所定の条件が成立して演出音の音量の大きさを示す画像と、演出操作部の操作を指示する画像と、が演出表示装置に表示されているときには、ボリュームを直接操作することなく、演出操作部を操作することによりその操作

に応じて演出音の音量を調整することができるようになっている。したがって、音量を簡単に調整することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本実施形態では、例えば、図25の扉枠ベース本体110の前面で遊技窓101の下端左右両外側に取り付けられる一対のサイドスピーカ130、図29の右サイド装飾ユニット200に取り付けられる右上部スピーカ222、図32の左サイド装飾ユニット240に取り付けられる左上部スピーカ262、及び図78の基板ユニット800におけるスピーカボックス820に取り付けられる下部スピーカ821がスピーカに相当し、図95の液晶表示装置1900が演出表示装置に相当し、図2の操作ユニット400のダイヤル操作部401及び押圧操作部405が演出操作部に相当し、図100の音量調整ボリューム4140aがボリュームに相当し、図97の主制御基板4100が主制御手段に相当し、図117及び図118の各種コマンドがコマンドに相当し、図100の周辺制御基板4140が演出制御手段に相当し、図1のパチンコ遊技機1が遊技機に相当し、図142の周辺制御部電源投入時処理におけるステップS1032の音データ作成処理が演出音音量調整制御手段及び演出音音量変更制御手段に相当し、図142の周辺制御部電源投入時処理におけるステップS1016の表示データ出力処理及び同処理におけるステップS1030の表示データ作成処理により実現される図153(b)、(c)の音量設定の画面が画像演出音音量表示制御手段に相当し、図142の周辺制御部電源投入時処理におけるステップS1018の音データ出力処理が音出力実行制御手段に相当する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0634

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0634】

なお、本実施形態では、音量調整ボリューム4140aのつまみ部を回動操作することにより音楽や効果音の音量を調節するようになっていることに加えて、図43に示した、操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作することで設定モードへ移行して音楽や効果音の音量を調節することができるようになっている。パチンコ遊技機1の電源投入後、所定時間内において、操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作すると、設定モードを行うための画面が液晶表示装置1900に表示されるほか、客待ち状態となって液晶表示装置1900によるデモンストレーションが行われている期間内において、操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作すると、設定モードを行うための画面が液晶表示装置1900に表示されるようになっている。この設定モードの画面に従って操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作することで音楽や効果音の音量を所望の音量に調節することができる。具体的には、音量調整ボリューム4140aのつまみ部の回転位置における抵抗値により分圧された電圧を、周辺制御A/Dコンバータ4150akがアナログ値からデジタル値に変換して、この変換した値に対して、操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405の操作に応じて所定値を加算又は減算することによって、基板ボリュームの値を増やしたり、又は減らしたりすることができるようになっている。この調節された音量は、音源内蔵VDP4160aの内蔵音源における複数のトラックのうち、音楽や効果音等の演出音の音データが組み込まれたトラックに対して、サ

ブボリューム値として設定更新されて演出音の音量の調節に反映されるものの、上述した報知音や告知音の音量に調節に反映されないようになっている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0636

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0636】

また、本実施形態では、パチンコ遊技機1において遊技が行われていない状態が所定時間継続され、客待ち状態となって液晶表示装置1900によるデモンストレーションが繰り返し行われると（例えば、10回）、前回、パチンコ遊技機1の前面に着座して遊技を行っていた遊技者が調節した音量がキャンセルされて、音量が初期化されるようになっている。この音量の初期化では、ホールの店員が調節した音量、つまりホールの店員が音量調整ボリューム4140aのつまみ部を直接回動操作して調節した音量（基板ボリューム）となるようになっている。これにより、前回、パチンコ遊技機1の前面に着座して遊技を行っていた遊技者が調節した音量を小さく感じて音楽や効果音を聞き取り難い場合には、今回、パチンコ遊技機1の前面に着座して遊技を行う遊技者が操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作して所望の音量まで大きくすることができるし、前回、パチンコ遊技機1の前面に着座して遊技を行っていた遊技者が調節した音量を大きく感じて音楽や効果音をうるさく感じる場合には、今回、パチンコ遊技機1の前面に着座して遊技を行う遊技者が操作ユニット400のダイヤル操作部401や押圧操作部405を操作して所望の音量まで小さくすることができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1179

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1179】

1 ... パチンコ遊技機（遊技機）、2 ... 外枠、3 ... 本体枠、4 ... 遊技盤、5 ... 扉枠、130 ... サイドスピーカ（スピーカ）、222 ... 右上部スピーカ（スピーカ）、262 ... 左上部スピーカ（スピーカ）、821 ... 下部スピーカ（スピーカ）、400 ... 操作ユニット、401 ... ダイヤル操作部（演出操作部）、405 ... 押圧操作部（演出操作部）、1100 ... 遊技領域、1900 ... 液晶表示装置（演出表示装置）、2101 ... 上始動口、2102 ... 下始動口、4100 ... 主制御基板（主制御手段）、4100a ... 主制御MPU、4110 ... 払出制御基板、4110b ... 停電監視回路、4140 ... 周辺制御基板（演出制御手段）、4140a ... 音量調整ボリューム（ボリューム）、4150 ... 周辺制御部、4150c ... 周辺制御RAM、4160 ... 液晶及び音制御部、4160a ... 音源内蔵VDP、4170 ... ランプ駆動基板、4180 ... モータ駆動基板。